



学校だより

半田市立乙川東小学校

第4号

令和5年6月23日

発行責任者：福島 富美

おつひ

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



ボランティア



乙川東小学校には、子どもたち自慢の花壇があります。その花壇を彩る花々の世話は、種まきから移植・水やり・草取りまでたくさんの人の手で行われています。今年も5月GW明けに種まき、そして6月中旬にビニルポットへの移植が行われました。毎年繰り返されるこの作業ですが、今年は少し風景が違いました。それは、子どもの緑化委員会が、「種まきボランティア」と「移植ボランティア」を5・6年生の子どもたちに募集し、たくさんのボランティアの子どもたちによって作業が進められたのです。大放課という貴重な休憩時間に自分の意思で集まった子どもたちのボランティア。そして、子どもたちの作業の前に、土作りやビニルポットの準備で早くから作業をしてくださった大人のボランティア（花作りサポーター）。また、休日に水やりをしてくださる地域のボランティア（地域ふれあい推進協議会）。たくさんの人の優しい気持ちをもたらした花が咲き誇る花壇が楽しみです。



「ボランティア」という言葉が広く知られるようになったのは1970年代以降ですが、その頃は「奉仕活動」のような意味合いに捉える人が多かったそうです。しかし、現在では、「ボランティア」とは「自発性」「社会性」「無償性」「創造性」を4つの原則としていることをご存じの通りです。この、みんなのために自分で考え行動する力は、本校の教育目標に合致することでもあります。そして、委員会活動を柱とした児童会活動はまさにボランティアそのものです。今年の児童会スローガンは「勇気 あいさつ・元気・思いやり 心は一つ！乙東っ子！」です。一步を踏み出す勇気をもって、みんなのために考えたことを実行していきましょう。

『できる時にできる人が子どもたちのために活動するPTA』もボランティアの精神そのものです。プール監視のボランティアにも、暑い中連日ご協力していただいています。おかげさまで、教職員は子どもたちの指導と安全のための監視活動に専念できています。子どもたちにとって、頼りになるボランティアの先輩です。

稲作学習が始まりました！

5年生は毎年、地域ふれあい推進協議会のご協力により、地域の方の田をお借りして稲作学習を行っています。



たくさんのお手伝いの方へあいさつ



しっかり田の土に植えます



一苗ずつ心を込めて



そろえて植えることは今後の世話に重要です

電子図書が利用できます

半田市立図書館より、子どもたちに、電子図書の貸し出しIDとパスワードが配布されました。学校でも、自習時間を利用して電子図書を読んでいる姿を見かけるようになりました。図書もなかなか充実していますので、ご家庭でもご利用ください。

あわせて、学校では図書館まつりが開催中で、連日図書室は満員です。本を手にとってページをめくる醍醐味もあります。読書は、子どもたちにとって生きる力の助けとなってくれます。読書の楽しさを知ってほしいと思います。

